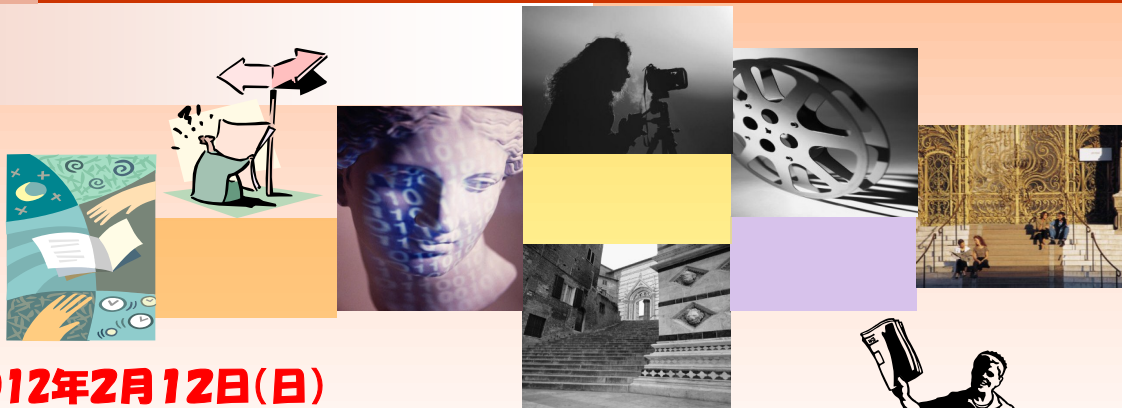


# 京都式認知症ケアを考えるつどい

## 認知症を生きる人たちからみた地域包括ケア ～京都の認知症医療・介護の全体像をデッサンする～



### ●日程:2012年2月12日(日)

#### ●13:00～14:20 基調講演

【主 題】認知症になっても地域の中で今までどおり暮らし続けたい  
～専門職と家族によるコンセンサス会議からの報告～

【講 師】武地 一氏（京都大学医学部附属病院老年内科診療科長）

#### ●14:40～16:40 パネルディスカッション

【座長】森 俊夫氏（京都府立洛南病院・認知症疾患医療センター）

【パネリスト】

高見国生氏（認知症のひとと家族の会）

辻 輝之氏（中京区認知症連携の会・中京東部医師会副会長）

宇都宮宏子氏（京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部）

橋本武也氏（特別養護老人ホーム同和園常務理事・園長）

杉原優子氏（京都府介護福祉士会会長）

三浦ふたば氏（京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会顧問）

#### ●16:40～17:00 京都文書探釈

### ●一般参加できます

### ●参加費:500円

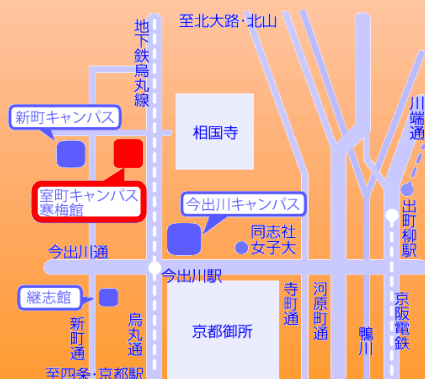
### ●場 所:同志社大学室町キャンパス

### 寒梅館ハーディーホール

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

○地下鉄「今出川」駅2番出口から徒歩1分

○京阪「出町柳」駅から徒歩15分



#### 【京都式認知症ケアを考えるつどい実行委員会構成団体】

（法人名略・順不同）

- ・ポストセミナー  
（日本病院・地域精神医学会京都総会「認知症セミナー」の継続）
- ・認知症のひとと家族の会
- ・認知症のひとと家族の会京都府支部
- ・京都府介護福祉士会
- ・中京区認知症連携の会
- ・京都社会福祉士会
- ・西京区認知症地域ケア協議会
- ・京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会
- ・京都地域密着型サービス事業所協議会
- ・京都市老人福祉施設協議会
- ・京都府認知症グループホーム協議会
- ・京都府老人福祉施設協議会
- ・京都市デイサービスセンター協議会
- ・中京区在宅医療センター／中京西部医師会
- ・北山通ソウクリック
- ・京都府作業療法士会
- ・京都市社会福祉協議会
- ・上京区通所介護・小規模多機能事業所連絡会「ささえ愛の会」
- ・京都府看護協会
- ・京都府理学療法士会
- ・京都府立洛南病院認知症疾患医療センター

#### 【後援】

- ・京都市
- ・同志社大学社会福祉教育・研究支援センター
- ・京都府介護支援専門員会

#### ●連絡先

京都式認知症ケアを考えるつどい実行委員会事務局

〒601-1371 京都市伏見区醍醐上ノ山町11番地

社会福祉法人同和園内（橋本・孫）

TEL：075-571-0010／FAX：075-571-0473

Mail：d-hashimoto@dowaen.jp

## いま、京都が大きく動こうとしています。

2025年問題。団塊世代の最後が75歳を迎える年であり、超高齢社会の到来を象徴する言葉でもあります。その2025年に向けた社会の仕組みづくりの骨格を示したものが「地域包括ケア研究会報告書」(2010年)であり、誰もが住み慣れた地域で包括的なケアを受けられる社会が目指されています。そして京都では、それと連動して「京都式地域包括ケア」の構築が始まりました。いま京都が大きく動こうとしています。

そうした重要な局面を迎えるにあたり、気になることがあります。それは「認知症を生きる彼・彼女からみた地域包括ケア」といったものは未だ十分に言語化されていないことです。ここに言葉を与えていくことが、京都で認

知症に関与している者の喫緊の課題となりました。時間はあまり残されていません。

「これまで私が見てきた資料は、すべてアルツハイマー病の介護者のために書かれ、出版されている。残念なことに、私たち、現実にはアルツハイマー病を病む者が忘れられているように思えてならない」と書いたのは、オーストラリアの認知症当事者、クリスティーンでした。2003年の彼女の来日から8年の時を経て、私たちには認知症の医療やケアに関する十分な蓄積があります。それらを集大成できれば、「認知症を生きる彼・彼女からみた地域包括ケア」の言語化も可能に思えます。

## そのための方法論として、

京都で認知症の医療やケアに関与する団体・個人が順次、広く参加できる実行委員会を結成し、そこを基盤に「つどい」を準備していくことを選択しました。「つどい」の目的は各団体や個人の要求をまとめることにはありません。多くの叢知を結集することにより京都の認知症医療・ケアの全体像を描ききることであり、その先に「認知症を生きる人たちからみた地域包括ケア」に言葉を与えることです。そして医療、看護、介護、家族、当事者、府民が、共に認知症について議論できる場を創出することです。こうした試みは、おそらく京都では初めての経験になります。認知症を生きる人たちが

疎外されないケアは、家族や医療介護従事者も疎外されないケアに他なりません。それは同時に京都府民が暮らしやすい社会を構築していく作業にもつながります。

2012年2月12日。寒梅館が熱気とエネルギーで満たされることで、京都の認知症ケアに新しい形が与えられていく瞬間に立ち会えることを期待します。寒梅館でお待ちしております。



認知症を生きる人たちが疎外されないケアは、家族や医療介護従事者も疎外されないケアに他なりません。それは同時に京都府民が暮らしやすい社会を構築していく作業にもつながります。



森 俊夫 (京都府立洛南病院・認知症疾患医療センター)  
高見国生 (認知症の人と家族の会代表理事)  
荒牧敦子 (認知症の人と家族の会京都府支部代表)  
武地 一 (京都大学医学部附属病院老年内科)  
辻 輝之 (中京区認知症連携の会・中京東部医師会副会長)  
杉原優子 (京都府介護福祉士会会長)  
福富昌城 (京都社会福祉士会会長)  
吉田 巖 (老人保健施設 じゅんぱう施設長)  
宇都宮宏子 (京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部退院調整看護師)  
高木俊介 (ACT-K代表 たかぎクリニック)  
北尾勝美 (さきょう認知症を考える会)  
山田尋志 (京都地域密着型サービス事業所協議会会長)  
細井恵美子 (山城ぬくもりの里施設長、元京都南病院総婦長)  
中村重信 (洛和会京都治験・臨床試験支援センター所長)  
出野平恵 (京都府認知症グループホーム協議会理事長)  
宋 仁浩 (北山通ソウクリニック院長)  
松本善則 (京都府介護支援専門員会常任理事)  
井上 基 (京都府介護支援専門員会常任理事)  
小林孝子 (京都府認知症グループホーム協議会副理事長)  
村田才司 (滋賀県淡海グループホーム協議会会長)  
空閑浩人 (同志社大学社会学部社会福祉学科教授)  
成本 迅 (京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学)  
塚本忠司 (西京区認知症地域ケア協議会・社団法人西京医師会理事)  
大藪 博 (西京区認知症地域ケア協議会会長・西京医師会会長)  
北村裕展 (西京区認知症地域ケア協議会代表世話人)  
畑山 博 (中京東部医師会会長)



## 「京都式認知症ケアを考えるつどい」へ参加を希望するみなさまへ

「京都式認知症ケアを考えるつどい」へあなたのご参加をお待ちしております。参加していただける方は、下記をご記入し、2012年2月 8日(水)までにお送りいただきますようお願い申し上げます。

**ファックス送信先 075-571-0473（表紙不要）**

|               |         |
|---------------|---------|
| 1. 参加者氏名：     | (ふりがな：) |
| 2. 所属機関（団体）名： |         |
| 3. 連絡先：TEL    | FAX     |
| E-mail        |         |
| 4. その他連絡事項：   |         |

|               |         |
|---------------|---------|
| 1. 参加者氏名：     | (ふりがな：) |
| 2. 所属機関（団体）名： |         |
| 3. 連絡先：TEL    | FAX     |
| E-mail        |         |
| 4. その他連絡事項：   |         |

|               |         |
|---------------|---------|
| 1. 参加者氏名：     | (ふりがな：) |
| 2. 所属機関（団体）名： |         |
| 3. 連絡先：TEL    | FAX     |
| E-mail        |         |
| 4. その他連絡事項：   |         |